

講師プロフィール

| | | |
|------------|---|----------------------|
| 氏 名 | 村上 成道 (むらかみ しげみち) | |
| 住 所 | 今治市 | |
| 研修分野 | 第 1 | 同和問題 |
| | 第 2 | ハンセン病と部落差別、コロナ禍と部落差別 |
| | 第 3 | 人権一般 |
| 主な研修テーマ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権は想像力の問題。いま他者の「痛み」への想像力が委縮している。 ・ 差別と排除意識、人はなぜ差別するのか。差別する側の心理を考える。人権の共存（侵さず侵させず）と協同へ ・ 格差の拡大する社会には「抑圧委譲」にはしる衝動が広く存在する。すべての国民は、個人として尊重され、平等と差別されない権利を有する。 ・ 「部落史」の見直しーケガレ意識と部落差別を基調に、地域により多様である。 ・ どうすれば部落差別をなくせるか。差別を合理化してはならない。部落差別を自分事としてとらえるとは。 | |
| 講師からのメッセージ | 差別は何らかの現実の、あるいは想像上の違いを根拠に、人に不利益を与え排除する行為。自分の内なる差別意識を見つめてみよう。 | |
| 現 職 | 愛媛県人権教育協議会 委員 | |
| 研究歴・活動歴 | 隣保館の元生活相談員として各種相談業務に携わるかたわら、人権メッセージを発信し地域の人権教育・啓発活動の推進に努めてきた。 | |
| 経 歴 | 昭和 43 年 4 月～平成 18 年 3 月 県立高校教員 平成 3 年 4 月～平成 9 年 3 月 愛媛県教育委員会勤務 平成 18 年 4 月～平成 23 年 3 月 国立高専講師 | |